

## 平成23年度事業計画

### I. 事業計画

#### 1. 「第21回世界少年野球大会・台湾大会」の開催

- (1) 大会趣旨 全世界に正しい野球を普及、発展させると同時に世界の少年少女たちの国際交流を通して参加者の相互理解を深め、世界平和の促進に寄与する。  
今大会は、中華民国建国100年を祝う記念大会として開催する。
- (2) 主催 財団法人世界少年野球推進財団  
行政院体育委員会  
高雄市政府  
財団法人日本野球連盟ほか
- (3) 主管 国際野球連盟（IBAF）
- (4) 後援 調整中
- (5) 協力 アメリカ・メジャーリーグ・ベースボール（MLB）  
中華民国棒球協会ほか
- (6) 大会概要
- i) 国際野球連盟（IBAF）の選任コーチによる野球教室の開催。世界20か国・地域から参加する少年少女185人が8つのグループに分かれて、野球の基本を学ぶ。
  - ii) 東京都軟式少年野球選抜チームと台湾在住の日本人少年チームが、台湾の少年野球チームと、当財団が定めたルールに従って国際交流試合を行い、技術の向上を目指すとともに親善を深める。
  - iii) 世界各国の少年少女が、高雄市内の小学生たちや地元民と、交流行事を通して親交を図り、高雄市や台湾の

文化に対する理解を深める。

(7) 期 間 平成23年7月27日(水)から8月4日(木)まで

#### 《A》野球クリニック

- (1) 会 場 澄清湖棒球场、三民高校野球场  
(雨天の場合は青少年バスケットボール場)
- (2) 少年宿舎 「育楽中心」内ホステル澄清会館
- (3) 参 加 者 i) 野球教室は世界20か国・地域の少年少女計185人。  
台湾70人、日本25人、他の国・地域はそれぞれ5人(少年4人、少女1人)  
ii) IBAFコーチ  
iii) スポークスパーソン  
iv) シャペロン  
v) アシスタントコーチ  
vi) ボランティア(ホストスタッフ)  
vii) 大会役員、事務局
- (4) 参加国・地域(予定)

米 州	アメリカ	カナダ	プエルトリコ	メキシコ	ニカラグア		
ア ジ ア	台湾	日本	中国	香港	韓国	タイ	フィリピン
欧 州	ドイツ	イギリス	スイス	オランダ	イタリア		
太平洋州	オーストラリア	ニュージーランド					
アフリカ	南アフリカ						

#### 《B》国際交流試合

- (1) 会 場 高雄市・立德球場  
台北市・未定
- (2) 選手宿舎 澄清湖棒球场・仮眠室
- (3) 参加チーム  
台湾チーム(10チーム)  
東京都軟式少年野球選抜チーム  
台湾在住日本チーム

## 《C》大会日程

7月27日(水)	参加者到着 受付 登録 用具配布
28日(木)	用具配布 ウェルカムパーティー(育楽中心内レストラン)
29日(金)	開会式(澄清湖棒球场) 記念撮影(同) 野球教室Ⅰ(県立澄清湖棒球场) 交流試合Ⅰ(高雄市・立德球場)
30日(土)	野球教室Ⅱ(澄清湖棒球场、三民高校野球场) 交流試合Ⅱ(台北市) 交流行事①
31日(日)	野球教室Ⅲ(澄清湖棒球场、三民高校野球场) 交流試合Ⅲ(台北市) 交流行事②
8月1日(月)	野球教室Ⅳ(澄清湖棒球场、三民高校野球场) 交流試合Ⅳ(高雄市・立德球場) 交流行事③
2日(火)	野球教室Ⅴ(澄清湖棒球场、三民高校野球场) 交流試合Ⅴ(高雄市・立德球場) 交流行事④ グッドウィルパーティー(華王飯店) 記念レセプション(華王飯店)
3日(水)	野球教室Ⅵ(澄清湖棒球场) 閉会式(澄清湖棒球场) 交流試合日本チーム帰国
4日(木)	野球教室参加者帰国

## 2. JA全農WCBF少年野球教室の開催

全国農業協同組合連合会(JA全農)の協賛事業として開催している野

球教室。日本ミルクコミュニティ株式会社とJA全農ミートフーズ株式会社、全農チキンフーズ株式会社、JA全農たまご株式会社の6社の協賛。本年度も全国6か所で開催する予定。開催地は未定。

受講者は小中学生と少年野球指導者。投げる、捕る、打つ、の基本を指導し、指導者には正しい練習方法や指導方法などを教える。また、野球少年の母親を対象とした管理栄養士による栄養講座を併せて開催する予定。野球の指導者はプロ野球OBを予定している。

### 3. 三井ゴールデン・クラブ野球教室

プロ野球セ・パ両リーグで、年間を通してそれぞれのポジションで優れた守備をした選手に「三井ゴールデン・クラブ賞」を贈っている三井広報委員会（三井グループ企業など26社で構成）が主催し、東京都軟式野球連盟が共催し財団が特別協力する野球教室で、22年度からスタートした。けがをしない正しい練習方法を、実技と講義を通して少年野球の指導者に身につけてもらうのが目的。講師は三井ゴールデン・クラブ賞の受賞者とトレーナー。23年度はすでに10月3日に栃木県足利市で開催し、83人の指導者と子ども14人が参加した。来年2月には、神宮球場で開催する予定。

なお、22年度は3月20日に神宮外苑室内球技場で第1回教室を開催。都内の指導者96人が参加した。

### 4. 大正製薬少年野球教室

大正製薬と財団の共催による野球教室。中野リトルリーグ所属の小学生を対象にプロ野球OB選手が講師になって年1回、埼玉県所沢市内の中野リトルリーグ専用球場で開催している。本年度も開催の予定。

### 5. 会報の発行

「WCBF会報」を年間2回発行し、財団の活動状況や事業内容、財団設立の目的、理念などを幅広く広報するのを目的に発行する。

様式	B5判 カラー印刷
発行部数	各5,000部
発行日	平成22年10月1日 平成23年 4月1日
配布先	関係機関 団体 協賛企業 寄付者 会員（法人、構成団体、個人） マスコミ 大会参加者など。

## 6. グッズの収益事業

23年度も、サンリオのキャラクター、ハローキティを生かしたプロ野球球団のグッズの販売を行いたい。セ・パ12球団のうち唯一、商品化の協力を得られなかったオリックス・バファローズが、22年のシーズン途中に商品化に協力してくれ、グッズ販売開始から10年目にして12球団すべてのグッズがそろった。

ハローキティをあしらったアクセサリーやタオル、ぬいぐるみは、大人から子どもまで幅広い年齢層に人気があり、23年度はプロ野球のキャンプ・インに合わせて、12球団のキャンプ地でグッズの販売を開始したい。12球団すべての商品がそろったことで、前年度を上回る販売実績を残せるよう努力したい。

以上